広報 KOUHOU MIBU

壬生 MIBU

No.488
1月号
2000

あけまして おめでとうございます

[1／3おもちゃ博物館特別開館福袋抽選会場にて]

主な内容

●年頭のごあいさつ 2～3
●ふれあい交流館完成 4
●民生委員・児童委員・福祉委員紹介 5
●平成10年度決算報告 6～7
●人権ポスター・作文入賞者 8
●平成11年度納税相談・確定申告等 10
●町公金口座振替に係る領収書の廃止 11

発行／壬生町役場 〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号 編集／総務部企画財政課広報広聴係 ☎0282-81-1814 毎月23日発行
ホームページアドレス http://www.t-cnet.or.jp/~mibu/

ごあいさつ

全国都市緑化フェアを成功させ 夢と活力にあふれた緑園都市へ

壬生町長
清水英世

新年あけましておめでとうございます。昨年は景気低迷が続き、その煽りを受けて税収が落ち込み、財源確保に苦労いたしましたが、第四次総合振興計画に基づいたまちづくりを着実に推進することができました。これもひとえに、町民各位の暖かいご支援の賜であり、心よりお礼申し上げます。

本年は、全国都市緑化とちぎフェアが開催されますので、尚一層のご指導とご支援を賜わりますよう切にお願いいたします。

さて、本町は、「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」の実現をめざしてまちづくりを進めておりますが、その核となるのが、公園や道路の整備であります。幸い、本町が本年9月から開催される第17回全国都市緑化とちぎフェアの会場地に指定されたことにより、本町のまちづくりに一層拍車がかかることになりました。現在、全国都市緑化フェアの開催にむけて、壬生総合公園や県道宇都宮栃木線をはじめ、周辺幹線道路の整備が、県事業として急ピッチで進められ、さらに、緑化フェア会場への導入路となる北関東自動車道の建設も順調に進んでいます。一方、全国都市緑化フェアの開催にむけた基盤整備に併せて、東雲公園についても国庫補助対象事業であるふれあい交流館の建設や公園部の整備が進み、また、城址公園も二の丸門の建設や御用水通りの整備が、くらしのみちづくり事業（建設省）を導入して進められ、城下町らしい道路景観の復元に努めております。

いよいよ、本年は全国都市緑化フェア開催年となりますので、これらの事業を完成させ、全国都市緑化フェアを迎えたいと思っております。そして、本町のまちづくりと直結する全国都市緑化フェアを是非とも成功させ、21世紀の飛躍につながる年としたいと思います。

すでに、本町を会場地にふさわしいまちにしようと、自治会や老人会などのご協力を得て、街角や周辺道路などを植栽で飾るなどして環境の美化に努めてきましたが、本年はさらに徹底を図ってまいりたいと考えております。また、県内外からの来場者を暖かく迎えるため、接遇の問題にも取り組んでいきたいと思っております。婦人団体等のご協力を心よりお願いいたします。いずれにいたしましても、町民各位のご協力を得て、何とか全国都市緑化フェアを成功させ、町のイメージアップと活性化を図るとともに、まちづくりの目標を実現し、21世紀にむけての飛躍の年としたいと思います。

さて、公園や道路の整備の他に、21世紀の飛躍にむけた社会基盤の整備として忘れることができないのが、上下水道やゴミ処理施設の整備など、生活環境の向上につながる事業であります。

ゴミ処理体制については、最終処分場に続いて、最新の設備を誇る清掃センターが完了したことにより、本町で排出したゴミは、町内で処理ができ、しかも厚生省の基準を十分クリアできる万全の体制を確立することができました。今後は、下水道や農業集落排水事業を重点事業として推進していきたいと思います。特に、本町の下水道整備事業は、歴史が古く、県下第2位の普及率を誇っていますが、すでに認可区域の約96％が整備完了となっております。従って、今後は、農業集落排水事業に力を入れるとともに、市街化調整区域についても、下水道事業を導入できないか検討を進めることとしております。

ところで、本年4月1日より介護保険制度がスタートします。この制度が円滑に推進できるよう、介護保険推進室を設置し、施設の整備など介護支援体制の整備に努めてきました。町内で介護を必要とする高齢者に十分満足してしていただけるサービスを提供できるよう心掛けたいと思っています。このように、介護保険制度導入にむけた介護支援体制の整備が図られていますが、一方健康な高齢者に対する支援体制も整備を急がねばなりません。いつまでも、健康で生き甲斐のある老後が送れますよう、高齢者のためのスポーツ、レクリエーション、文化活動の場を広げていきたいと思っております。

さらに高齢者対策とともに重要なのが少子化対策であります。本町では、すでに「すこやか子育て支援金」「第3子以降の保育料の減免」や延長保育など他町に先がけていろいろな施策を実施しておりますが、本年度からは、乳幼児医療費助成年齢の引き上げ、チャイルドシート購入費補助などを取り入れることにしており、安心して子育てができる環境づくりに努めたいと考えております。

これまで、ハード面を中心に社会資本の整備などまちづくりについてふれてきましたが、真に豊かさを実感できる社会の構築のためには、文化、スポーツなどソフト事業にも積極的に取り組まなければならないと思っています。本町は古くから文化の薫り高い、スポーツの盛んな町として高い評価を得てきましたが、近年は、生涯学習の町としても知られるようになりました。特に、中央公民館で開催される音楽会、歴史民俗資料館での企画展、生涯学習館の主催事業、総合運動場で開催される各種スポーツ事業などは、他の追随を許さない立派な事業であると自負しております。これも、町民各位が積極的に参

年頭の迎春

住民を代表する機関として「緑園都市・みぶ」を実現するため執行部とともに努力する

壬生町議会議長
川島芳之

平成12年の年頭に当たり、壬生町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さん、明けましておめでとうございます。希望にあふれた輝かしい新春を迎えましたことを、お喜び申し上げます。また、皆様には、日頃から町議会に対する暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成12年は西暦二千年という、大変大きな節目の年です。本町にとりましても、今年は北関東自動車道が一部開通になり、壬生インターチェンジも供用開始になります。そして、その壬生インターからつながった、とちぎわんぱく公園及び壬生総合公園が完成し、その公園において全国の町村では初めての、全国都市緑化とちぎフェアが開催されます。さらには、緑化フェア関連の県道、町道の整備も完了し、また、町民の憩いの場としてのふれあい交流館も新しく完成する予定です。

そこで、まだまだ景気低迷が続く中ではありますが、町民の皆様方にはまさに西暦二千年にふさわしい、新しい「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」を是非ご覧いただきたいと思います。

次に、既に皆様方ご承知のとおり、高齢社会により介護は誰もが直面する問題ということで、介護を社会全体で支える介護保険制度が今年4月からスタートします。今までは、全額税金で福祉サービスをしていましたが、これからは税金ではなく保険料ということですので、福祉のお世話になるのは肩身が狭いと考えるのではなく、堂々と介護保険サービスを受けていただきたいと思います。しかし、一方ではいつまでも、活き活きと過ごせる、介護の必要のない健康づくりも大変大事なことではないかと思います。

また、同じく今年4月から地方分権法が施行され、行政の中央集権体制が変わり、国が上で地方が下ということではなく、国と地方は対等・協力の関係に変わります。そのため国の指導等もあまりなくなり、自分の町のことは自分で決めて、自分の町で責任を持つことになります。具体的には、今までは、国の仕事を町が国に代わってやっていたものが、町独自の仕事に変わったり、県の仕事の一部が町の仕事に移る、いわゆる権限委譲がなされたりします。そのため、町としても、より行政基盤の強化等が必要になってくるのではないかと思います、さらには、当町では既に情報公開条例ができておりますが、情報公開、住民意向の尊重、住民参加のまちづくり及び住民の要望にこたえる積極的行政の推進などが求められてくるのではないかと思います。

その他、少子高齢化対策、環境問題、資源循環型社会の創出、農業・商工業等の振興、教育問題、交通問題、文化づくり、都市基盤づくり、広域行政の推進及び行財政改革など、どの分野においてもこれまでの踏襲ではなく、地方分権時代にふさわしい、新しい視点での取り組みが必要になってくるのではないかと思います。

議会におきましても、地方分権により、議会の権限が広がり責任も増して参りますので、より議会の活性化を図り、住民の声を肌で感じる存在として、まさに住民を代表する機関として、また、民主的で公平な立場で、執行機関とは一歩離れ、二歩離れない姿勢で「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」を目指し、町長さんはじめ町執行部の皆様とともに努力して参りたいと考えております。

特に今年の、緑化フェアにおいては、全国から来られる皆様に満足していただけるよう、町を挙げて取組み、その後のまちづくりにつなげていこうということですので、議会としても緑化フェアの成功を期するため、町執行部の皆様とともに鋭意努力して参りたいと考えております。

どうか、皆様方におかれましても、緑化フェアを成功させるため、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。結びに、本町の益々のご発展と、町民の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

加し盛り上げていただいた賜であります。今後とも尚一層のご支援をお願いします。

さて、最後に行財政改革について申し上げます。本町ではこれまで、壬生町行政改革大綱に基づいて、簡素で効率的な新しい行政システムの確立を目指して、事務事業の見直しや組織機構の簡素合理化などを積極的に推進してきました。景気低迷による税収不足が予想される今日、町民の皆様からの貴重な税金をできるだけ適正、効率的に活用するためには、行財政改革が是非とも必要であります。この課題に今後とも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

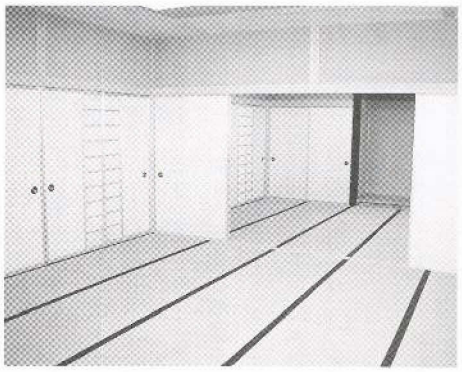
このように本年実施すべき主な事業を中心にまちづくりについて述べましたが、本町のまちづくりの目標である「夢と活力にあふれた緑園都市」を実現するためには、この目標とつながる全国都市緑化フェアを何としても成功させなければなりません。町民各位の暖かいご理解とご支援を心よりお願いし、年頭のあいさつとさせていただきます。

東雲公園内に ふれあい交流館完成

2月1日から利用できます

▲ ふれあい交流館全景

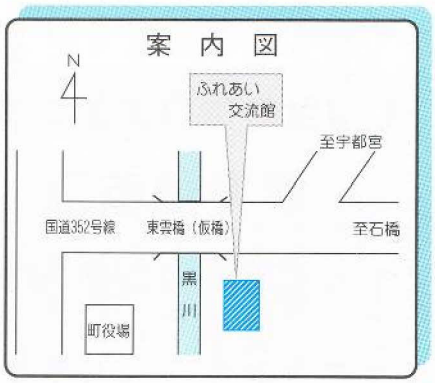
▼日本間



▲ プレイルーム

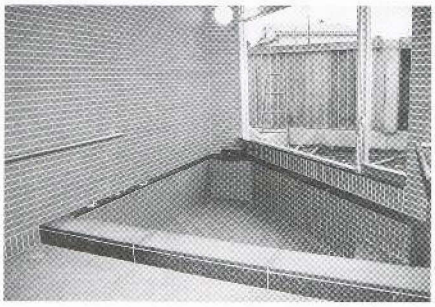
子供からお年寄りまでが世代間を超えた交流や文化活動等が楽しめる地域交流の拠点施設として、また、現在整備中の東雲公園の核として、国の全額補助を受け、昨年6月から建設を進めていた「ふれあい交流館」がこのほど完成し、2月1日から利用できるようになります。

この施設は、鉄骨造2階建て、建築面積441・56㎡、延床面積550・56㎡、総工費は、1億7千220万円です。1階は、多目的に使用できるプレイルーム（94・37㎡）をはじめ、10畳と15畳の和室、浴室、事務室などからなり、2階部分にはギャラリー等があります。なお、利用のできる日及び利用料金等は次の通りです。



利用のできる日

1月5日～12月27日　午前9時～午後9時（毎週月曜日を除く。ただし月曜日が祝日の場合は翌日を除く）



▲ 浴　室

利用料金

プレイルーム（会議室）	午前9時～午後1時	800円
	午後1時～午後5時	800円
	午後5時～午後9時	1,000円
浴　室	中学生以上	1日につき300円
	小　学　生	1日につき150円

※会議室を個人で使用する場合及び浴室を60歳以上の方又は未就学児が使用する場合は無料

問合せ先

町建設部都市計画課公園緑地係　☎81－1855

地域の福祉を応援します

民生委員・児童委員・福祉委員は、地域のボランティアとして自主的・主体的に活動し、担当区域の実態や福祉需要を日常的に把握するとともに、皆さんのかかえる児童、母子、高齢、心身障害などのさまざまな問題について、身近な立場で相談に応じています。

また、社会福祉の制度やサービスは、ますます充実・拡大していますので、これらの内容や情報をお知らせし、福祉需要に応じたサービスを得られるよう、関係機関との連絡調整も行っています。

さまざまな問題について相談に応じます

民生委員・児童委員・福祉委員の方々

番号	氏名	住所	電話番号	担当区域
1	藤田藤三郎	表町9-2	82-0898	1.下表町
2	中村　敏子	表町2-39	82-2083	2.中表町
3	鈴木　文代	本丸二丁目22-32	82-0418	3.下横町 4.今井
4	早乙女俊子	中央町17-24	82-0765	5.上表町
5	丸山　サキ	駅東町4－23	82-0581	6.東下台 41.下台団地
6	住川　卓三	駅東町23-13	82-7282	42.駅東 44.県営壬生住宅
7	塩沢　ナミ	中央町2-28	82-0625	7.城東町
8	市川フミ子	中央町6-8	82-2854	8.舟町 9.栄町
9	船越多喜知	通町8-9	82-0217	10.仲通町
10	渡辺喜代子	通町4-12	82-0249	11.上通町
11	粕尾榮治郎	壬生甲637-2	82-5439	12.三好町 39.車塚
12	戸崎　豊治	壬生甲3388-1	82-1635	13.旭町 26.星の宮
13	神永マサ子	大師町9-21	82-0676	14.万町
14	青木金十郎	壬生甲961-1	82-2719	15.上新町
15	石塚　勘一	壬生甲2589-1	82-5975	16.下馬木（壬生）
16	甫坂　清	壬生甲2300-1	82-0844	17.西高野
17	佐藤　信子	本丸二丁目3-7	82-0022	18.城内
18	人見　イハ	本丸二丁目14-32	82-1240	19.城南
19	橋本　福一	藤井232	82-3028	20.馬場 21.原宿
20	柏崎美代子	藤井1288	82-5610	22.田向稲荷内 23.上坪 24.前宿坪 25.台坪
21	齊田　晃男	壬生甲3803-30	82-3050	43.至宝町南の一部
22	尾川　洋子	至宝二丁目7-8	82-4079	27.至宝北の一部 43.至宝南の一部
23	根本　信子	いずみ町8-7	82-6117	27.至宝北の一部 37.いずみ町
24	中川　和江	壬生丁287-1	82-0622	28.六美町北部の一部（ひばりヶ丘住宅周辺）29.ひばりヶ丘住宅
25	荻原みい子	至宝三丁目9-15	82-6540	28.六美町北部の一部（東部）
26	小林キミ子	壬生丁258-8	82-2280	28.六美町北部の一部（中央部）
27	石井　末代	壬生丁105-3	82-3740	40.六美町中央
28	岩田　幸子	壬生丁142-7	82-5236	38.六美町南部
29	青柳　とき	緑町一丁目5-11	86-0089	30.緑町一丁目 31.緑町二丁目
30	上山　静香	幸町一丁目13-10	86-2182	32.幸町一丁目
31	松本　景子	幸町二丁目29-1	86-1059	33.幸町二丁目
32	安田　豊治	幸町三丁目15-6	86-0574	34.幸町三丁目
33	栄松　澄子	幸町四丁目4-14	86-2379	35.幸町四丁目 36.おもちゃのまち1・1～1・3・同3・5丁目
34	家亀　秋子	おもちゃのまち2-8-24	86-0198	36.おもちゃのまち1・4～1・9・同2・4丁目
35	若林　清	下稲葉385	82-3409	50.釜ヶ渕 51.原坪
36	鯉沼　佐市	下稲葉1478	82-5990	52.鹿島
37	神長　浩	上稲葉1789	82-5996	53.下馬木（稲葉）54.下町
38	神長　徳茂	上稲葉1982	82-5955	55.上町
39	高木　昭年	七ツ石192-1	82-9124	56.本郷
40	早川　毬子	七ツ石764-2	82-2366	57.松原
41	早乙女ハツ	羽生田2412	82-9058	58.西部 60.北原
42	木野内啓一	羽生田532-1	82-3407	59.中央 61.台宿 62.下坪
43	黒子　昭平	福和田1587-54	82-5637	63.東原 64.鯉沼
44	山崎　文吉	福和田1001-26	82-5701	65.福和田
45	鈴木　貴夫	北小林274-3	86-3917	70.北小林
46	鈴木　理助	安塚2226-2	86-0122	71.安塚一の一部
47	高橋　ミサ	安塚2136-4	86-2030	71.安塚一の一部
48	吉葉　ミツ	安塚931-7	86-2303	89.安塚中央
49	早乙女　弘	安塚988	86-1576	72.安塚二
50	荒川ノリ子	安塚877-46	86-2694	85.安塚三
51	河野辺泰子	安塚1099-5	86-2684	86.安塚南部
52	中川　淳	安塚754	86-1381	73.上長田
53	大関　チヨ	上田967-1	86-3728	74.上田
54	中村　安宏	中泉300	86-0170	75.中泉
55	渡辺　章	助谷159-11	86-3659	76.助谷 77.助谷原
56	渡辺　親守	落合三丁目4-5	82-5057	78.落合 79.国谷中央の一部（南部）
57	野口百合子	国谷294	82-5879	84.あけぼのの一部 88.国谷本田
58	大栗　トミ	国谷700	82-5936	79.国谷中央の一部（西坪・明城）80.国谷新田
59	高間　信義	緑町三丁目14-10	86-0970	82.緑町三丁目 83.緑町四丁目
60	宇賀神二三子	若草町1-17	86-2649	84.あけぼのの一部 87.若草
61	石崎　典子	壬生丁112-1	82-2475	主任児童委員
62	神長　孝子	上稲葉1694-2	82-9113	主任児童委員
63	安生　佳子	安塚2076-13	86-0090	主任児童委員

平成10年度決算報告

町の家計簿

町民の皆さんに町の財政がどのようになっているかを知っていただくために、財政状況を公表しています。

今回は、平成10年度の決算状況についてお知らせします。

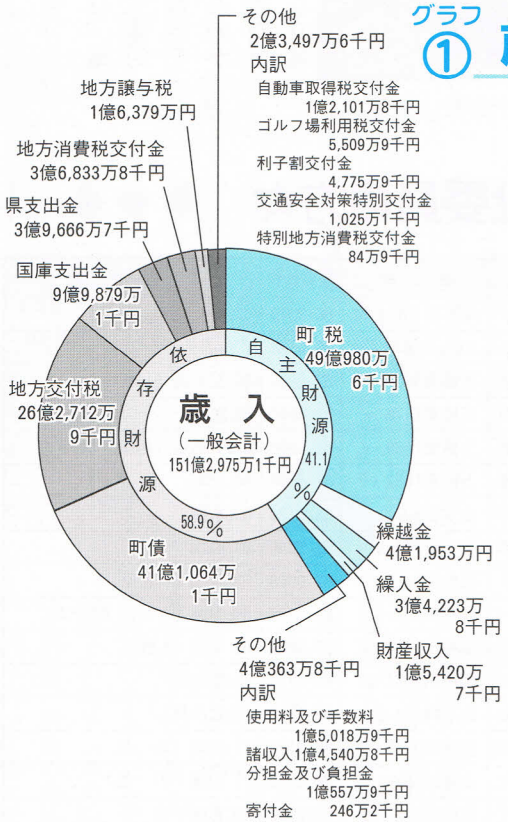
平成10年度の当初予算は、壬生町第4次総合振興計画「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」の創出を目指し、策定された諸施策の着実な推進、少子・高齢化等に対応した総合的福祉施策の展開、社会資本の整備、町内産業の振興など町政の当面する課題に対処しました。また、将来にわたり安定的な財政運営が行えるよう、徹底した行財政改革に取り組み、歳入歳出予算両面から財政の健全化を図りつつ、限られた財源の重点的かつ効果的配分に努め、高度・多様化する町民ニーズに適切に対応するため、別途策定された「平成10年度予算編成方針」の下で編成されました。

その後発生した行財政需要及び国・県支出金の増減などに対応した追加補正を行うとともに、歳入の確保と歳出全般の節減・合理化を推進し、効果的な予算執行に努めました。

その結果、平成10年度一般会計決算額は、歳入総額151億2,975万1千円で、前年度に対して33億937万円（28・0％）の増となりました。歳出総額は、146億38万4千円で、前年度に対して31億9,953万4千円（28・1％）の増となりました。

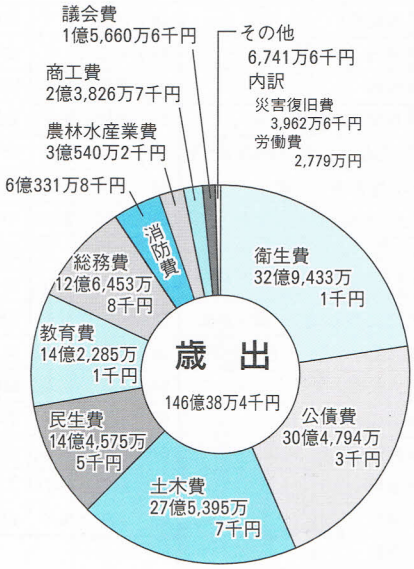
これは、平成9年度～10年度に継続事業として実施した清掃センター建設事業や、後年度の負担軽減のために実施した町債の借換等（19億2,474万1千円）によるものです。

グラフ① 歳入状況

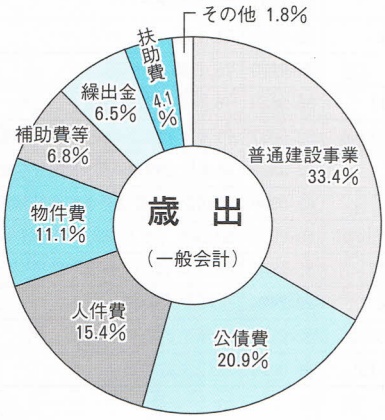


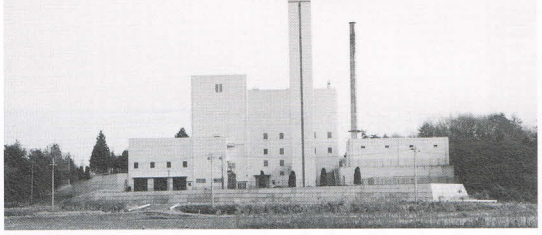
グラフ①（歳入状況）は、歳入の決算割合を示したものです。町税等の町独自で確保できる自主財源が41.1％、町債や地方交付税、国・県より交付される補助金などの依存財源が58.9％です。その歳入がどう使われたかを示すのがグラフ②です。グラフ③（性質別歳出の状況）は、歳出の経済的性質を基準として分類したものです。全体の33.4％を占める普通建設事業の主なものは清掃センター建設事業や道路改良事業などです。また、20.9％を占める公債費は後年度の負担軽減のための借換等によるものです。

グラフ② 歳出状況



グラフ③ 性質別歳出状況

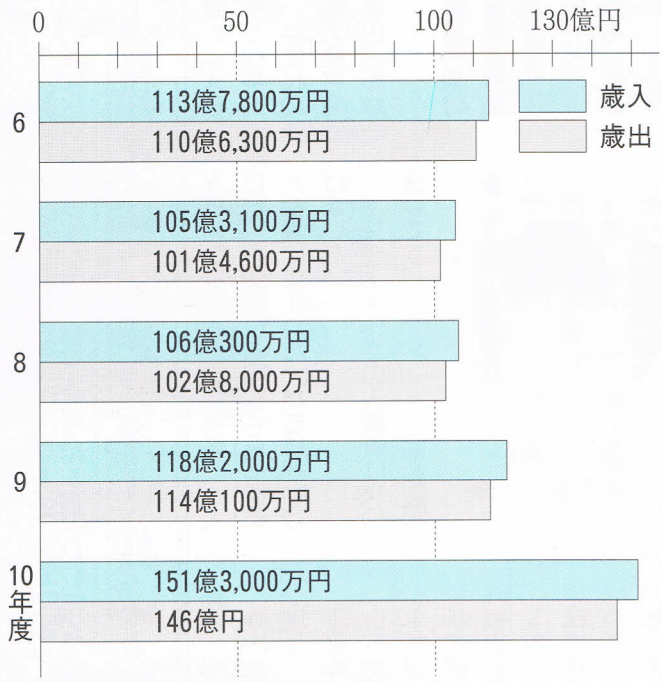




◀清掃センターの建設資金は、厚生年金・国民年金積立金還元融資資金が使用されています。

一般会計決算額の推移

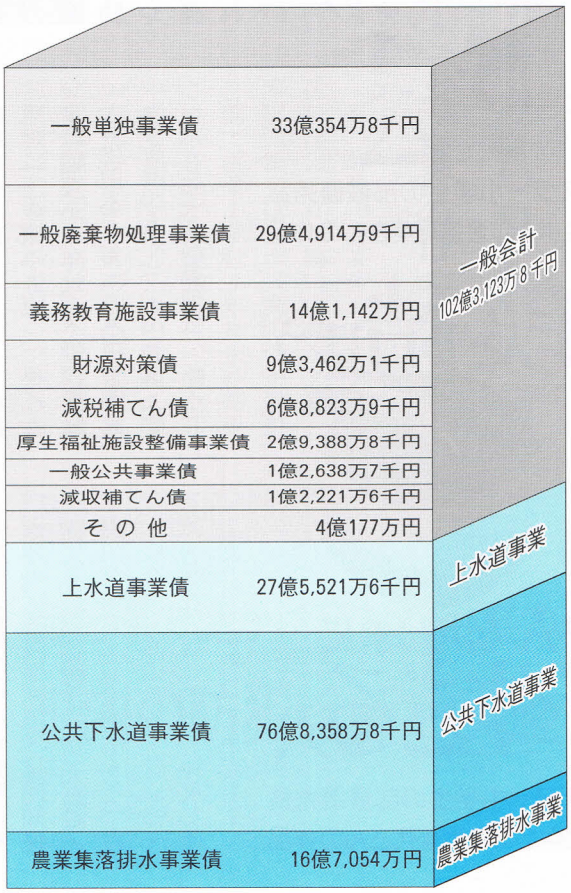
（平成６～10年度）



町有財産等		
	基　金	41億1,914万9千円
	出資金	5,082万1千円
	土　地	1,199,019㎡
	建　物	120,622㎡

地方債現在高

（平成10年度末）



特別会計

決算状況

会計	歳入	歳出	繰越金
国民健康保険	24億7,797万4千円	23億5,437万6千円	1億2,359万8千円（基金積立金8,000万円）
公共下水道	17億7,933万4千円	17億1,844万8千円	6,088万6千円
奨学資金	170万1千円	169万2千円	9千円
老人保健事業	29億8,397万5千円	29億510万7千円	7,886万8千円
農業集落排水事業	8億1,330万5千円	8億74万円	1,256万5千円

水道事業					
	収益的収支	総収益額 5億8,201万7千円	総支出額 5億902万7千円	純利益 7,299万円	※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び当年度消費税資本的収支調整額で補てんしました。
	資本的収支	総収入額 2億5,672万1千円	総支出額 3億9,058万9千円	※収支不足額 △1億3,386万8千円	

渡邉瑠美さんら5名が最優秀賞に

『人権の集い』でポスター・作文入賞者を表彰

町と町教育委員会主催の「人権の集い」が12月3日、壬生中央公民館で開かれ、町内小、中学校の児童・生徒から募集した人権啓発ポスター・作文の入賞者の表彰が行われました。

続いて、作文の部で最優秀賞に輝いた壬生北小3年の藤榮沙也加さん、安塚小5年の井上早穂さん、南犬飼中3年の上原千明さんの3名から作品の朗読発表がありました。

また、講演の部では、群馬県箕郷町文化会館館長　富澤保先生から「人権尊重のまちづくり」と題してお話があり、幅広い人権の問題を過去の歴史を中心に分かりやすく説明され、これからは、「自分自身の問題として、自分はこれから何をすべきかよく考え、一人ひとりが実践していくことが必要」と会場に集まった人たちに呼びかけました。

ポスター・作文の入賞者は次の通りです。

（敬称略）

ポスター小学生の部最優秀賞
壬生小5年渡邉瑠美さんの作品

ポスター中学生の部最優秀賞
壬生中2年安生佳代さんの作品

●ポスター入賞者

小学生の部

★最優秀賞

渡邉　瑠美　（壬生小5年）

★優秀賞

山川博史（藤井小5年）、山田恵理（壬生東小6年）、早乙女歩（稲葉小6年）、木野内愛咲（羽生田小6年）、大垣智斐呂（壬生北小5年）、中田愛美（安塚小6年）、高橋理依（睦小6年）

★佳　作

寺内綾香・池上沙也加・真生田瑛子・細田恵李奈（壬生小5年）小森寛・青柳名津子・田村彰吾・白石加奈子（壬生小6年）、鈴木祥也（藤井小5年）、橋本稚子・山川千佳（藤井小6年）、福田彩美・増山綾夏（壬生東小5年）、田中麻貴・萩原梨沙・秋田恵里・粂川有理恵（壬生東小6年）、鈴木諒太・大橋千奈都・高久淳（稲小5年）、後藤友紀・入江啓太・田中宏和・神永淳美・神長亜友美・足助知保（稲小6年）、舘野仁美・大島毅・山口奈通季（羽生田小5年）鈴木麻奈美・高山治香・菅原怜・神永晴香・落合孝年・神永友理（羽生田小6年）、二ノ宮圭祐・阿部佳織・山野井淳美（壬生北小4年）、木野内有美・粂川晴香・大関一樹（壬生北小5年）弓田智春・大垣好・山ノ井喬晶（壬生北小6年）、麦倉由佳梨・大川真央・渡邊加奈子・井上早穂・小野崎香織（安塚小5年）柄目友久・柏倉亜美・中島綾香・大川原健（安塚小6年）、福井綾子・衛藤久瑠美・大貫未来・塩田舞（睦小5年）、五十嵐愛・谷垣内まゆ・熊谷早織・黒川敦子・齊藤秋（睦小6年）

中学生の部

★最優秀賞

安生　佳代　（壬生中2年）

★優秀賞

斎藤聖良（南犬飼中1年）、森田恵里子（壬生中2年）、青木心吾（壬生中3年）

★佳　作

青木希・渡辺佳美・落合友香・細井真由美（壬生中1年）、古沢圭介（壬生中2年）・寺内知可・粕尾圭美（壬生中3年）、北條志織・木野内由美（南犬飼中1年）、安達千笑（南犬飼中2年）

●作文入賞者

小学校低学年の部

★最優秀賞

藤榮沙也香（壬生北小3年）

★優秀賞

鈴木佐知（壬生小3年）、別井悠佳（羽生田小3年）、鮎田直美（壬生北小3年）、金子奈穂美（安塚小3年）、高橋拓実（睦小2年）、長谷川弥香（睦小3年）

小学校高学年の部

★最優秀賞

井上　早穂　（安塚小5年）

★優秀賞

清水英幸（壬生小4年）、鈴木太貴・猪瀬和茂（壬生小5年）、鈴木唯香梨（壬生小6年）、舘野仁美・篠原加奈子・落合彩乃（羽生田小5年）、神永晴香（羽生田小6年）、木村早央里・木野内有美（壬生北小5年）、亀田百世（壬生北小6年）、尾形和帆（安塚小4年）、鈴木隆昭・篠原麻里子（安塚小6年）、中尾尚恵（睦小4年）、小林友理香（睦小5年）、岩見奈々江（睦小6年）

中学生の部

★最優秀賞

上原　千明（南犬飼中3年）

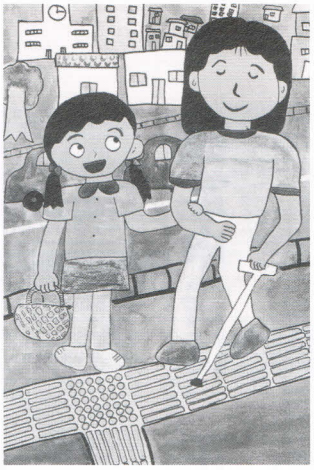
★優秀賞

瀬川智広（南犬飼中1年）、渡邉真実子（南犬飼中2年）、石村文乃・竹村智成（南犬飼中3年）

稲小4年神永さんら3名入賞

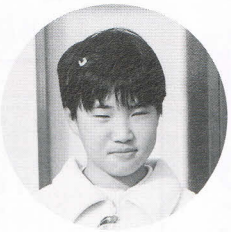
心の輪を広げる体験作文・障害者の日のポスター

県及び県教育委員会では、障害者に対する県民の理解の促進を図るため、心の輪を広げる障害者理解促進事業として「障害者の日のポスター」と「心の輪を広げる体験作文」を募集していましたがこのたび入選作品が発表されました。



障害者の日ポスター最優秀作品

その結果、ポスター171点、体験作文205編の応募があり、本町関係では、ポスターの小学生部門で稲葉小学校4年神永紗緒里さんの作品が最優秀賞に、また、中学生部門では、壬生中学校1年の石黒ひとみさんの作品が優秀賞に、体験作文の高校生・一般県民部門では、幸町の吉田ミツ子さんの作品が優秀賞に輝きました。



稲葉小4年
神永紗緒里さん

自転車の鍵かけ忘れが目立つ
町内の防犯診断を実施

栃木警察署、防犯組合員、消防団員、町執行部等約142名が、年の瀬も押し詰まった12月21日、町内の防犯診断を行いました。

この日は、町内を4地区に分かれ、自動車、自転車、オートバイ等の乗物を中心として、鍵のかけ忘れ等のチェックをしました。

診断結果は、下表のとおりで、特に自転車の施錠をしていないものが目立っています。

キーを付けたままや施錠していないものは、盗難や犯罪に使われたりすることがありますので、車から離れるとき等は、必ずロックするよう心掛けましょう。

鍵のかけ忘れをチェック

防犯診断結果

	自動車			自転車			オートバイ	
	実施台数	ドアロックなし	キー付き	実施台数	施錠せず	カギなし	実施台数	キー付き
壬生地区	998	104	21	554	98		44	2
稲葉地区	1,017	253	83	400	232	10	149	31
南犬飼地区	1,156	154	33	446	137	66	97	17
おもちゃのまち	798	74	8	329	87	34	34	
計	3,969	585	145	1,729	554	110	324	50
%		14.7	3.7		32.0	6.4		15.4

フォトニュース

12／6

人権意識の高揚を図る

毎年12月4日～10日は、人権週間です。町人権擁護委員協議会ではシンユーストア、ジャスコ壬生店の店頭でチラシやマスコット等を配り街頭広報を実施しました。

12／7

農業委員会が町に建議・要望

米の生産調整、土地基盤整備事業、認定農業者支援、集落排水事業、農地流動化などの農業施策や予算について、建議・要望を伝えました。

12／16

収益を福祉活動に寄付

福祉フェスティバル実行委員会は、12月5日わんぱく睦っ子の森で開催した、第2回チャリティー福祉フェスティバルの収益金を、町長室において、睦作業所とのぞみホームの保護者会に、福祉活動の資金として寄付しました。

平成11年度
納税相談日程のお知らせ

★相談受付時間　午前９時～12時、午後１時～４時

★お持ちいただく書類等

印鑑、源泉徴収票、生命保険料や損害保険料の控除証明書、社会保険料（国民健康保険税・国民年金）の領収書等、その他所得控除や税額控除を受けるのに必要な書類、金融機関の口座番号の控え等

★問合せ先

町総務部税務課町民税係　☎81－１８１７

申告受付月日		自治会名	場所
2月16日(水)	午前	下町、北原	稲葉地区公民館
	午後	原坪、下坪	
17日(木)	午前	鹿島、鯉沼	
	午後	上町、台宿	
18日(金)	午前	釜ケ渕、本郷	
	午後	下馬木（稲葉）、松原	
19日(土)	午前	西部、福和田	
	午後	中央、東原	
22日(火)	午前	中泉	南犬飼地区公民館
	午後	助谷、国谷本田	
23日(水)	午前	北小林	
	午後	国谷中央、おもちゃのまち、いずみ	
24日(木)	午前	上長田	
	午後	あけぼの、若草	
25日(金)	午前	上田	
	午後	安塚南部、至宝町北	
26日(土)	午前	緑町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目	
	午後	幸町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目	
29日(火)	午前	安塚（二）	
	午後	落合、六美町北部	
3月1日(水)	午前	安塚（一）	
	午後	安塚中央	
2日(木)	午前	助谷原、国谷新田	
	午後	安塚（三）	
3日(金)	午前	旭町、城南	壬生中央公民館
	午後	万町、上新町	
4日(土)	午前	下表町	
	午後	中表町、下横町	
7日(火)	午前	上表町	
	午後	今井、城東町	
8日(水)	午前	東下台	
	午後	舟町、栄町	
9日(木)	午前	城内	
	午後	上通町、三好町	
10日(金)	午前	仲通町、馬場、田向稲荷内	
	午後	原宿、星の宮	
11日(土)	午前	六美町南部	
	午後	下馬木、車塚	
14日(火)	午前	前宿坪、台坪、ひばりケ丘	
	午後	上坪、至宝町南	
15日(水)	午前	六美町中央、下台団地	
	午後	西高野、駅東、県営壬生住宅	

確定申告は、正しくお早めに
期間は2月16日～3月15日まで

税務署からお知らせ

間もなく、確定申告書の提出と納税の時期がまいります。

申告書の提出期間は、2月16日から3月15日までです。

ご自分で正しく記入して、郵送や税務署窓口（休日を除く）へ提出願います。

納税は3月15日までにお願いします。また、手続き簡単で安全な、金融機関の預金口座からの振替納税をお勧めします。

確定申告書の記載や納税についてのご相談は、期限間近になりますと大変混み合いますので、お早めに栃木税務署へお越しください。

問合せ・郵送先

●栃木税務署　☎22－1716
栃木市本町17－7

また、相談は、税務相談室栃木分室（栃木税務署管内☎23－7435）もご利用ください。

確定申告は「自書申告」で

税務署では、申告納税制度の趣旨から確定申告書・収支内訳書等の提出書類を納税者ご自身で正しく作成し、郵送等で提出していただくように「自書申告」を進めています。

税務署以外の申告会場も含め「自書申告」をお願いし、今後ご自分で確定申告書等を作成できるような指導・相談をする予定ですのでご協力ください。

確定申告書等の作成が困難な方は、できる限り申告書に記入した上で申告期間の前半（2／16～2／25）に税務署においでください。

〔申告に持参するもの〕

・収入・支出の金額がわかる書類帳簿、領収書、請求書、伝票、預金通帳、棚卸表等から決算書又は収支内訳書に記載できるよう集計したもの

・源泉徴収票、生命保険・損害保険支払証明書、印鑑、前年の確定申告書又は収支内訳書控え等

贈与税の申告は2月1日から3月15日までに

個人から贈与された現金、有価証券等の資産の合計額が年間60万円を超える方

消費税の申告は3月31日までに

次の事項に該当する方（課税事業者）は、消費税の確定申告が必要になります。

①平成9年中の課税売上高が3千万円を超える事業者

②平成9年中の課税売上高が3千万円以下で「消費税課税事業者選択届出書」を提出している事業者

消費税、地方消費税期限内に納付を

納税は、社会の基本的なルールです。日頃から納税のための資金手当や納付の期限に十分注意し、期限内に申告・納付されるようお願いします。特に、消費税及び地方消費税は、消費者が負担している税ですから、確実に納税がされるようお願いします。

スポーツ

「てまり」「壬生クラブ」が頂点に
第15回壬生町バスケットボール大会

第15回壬生町バスケットボール大会は、11月14日、21日の二日間南犬飼中学校新体育館で、男子18チーム、女子7チームが参加して行われました。

大会結果は次の通りです。

●男子の部
優　勝　てまり
準優勝　壬生体協
3　位　ペニーズ、Bullets

●女子の部
優　勝　壬生クラブ
準優勝　プー
3　位　AQUA、西方女子B.C

てまりチームの皆さん

壬生クラブの皆さん

全国身体障害者スポーツ大会で
金・銅

清水町長と半澤利幸さん(右)

11月6日～7日に熊本県で開催された全国身体障害者スポーツ大会に、本町から半澤利幸さんが出場し、砲丸投げが4m69で見事金メダル、又、車いす100m走でも22秒41で銅メダルを獲得しました。

砲丸投げも100m走も腕の力がないとできないスポーツですが、半澤さんは普段は車いすのバスケットボールをしているそうです。

この記録をきっかけに、障害者がスポーツに積極的に参加できるよう、手助けをしたいということです。

GOOCCIESが見事優勝！

知事杯市町村選抜野球大会で優勝したGOOCCIESの皆さん

8月8日から佐野市で開催された知事杯第35回市町村選抜野球大会（各市町村から代表65チーム参加）で、本町代表として出場したGOOCCIES（ゴッチーズ）（大橋辰雄代表）が優勝しました。

また、栃木県代表として10月30日から群馬県高崎市で開催された第5回関東選抜軟式野球大会にも出場しましたが、優勝した東京都代表の関電工チームに準決勝で惜しくも敗れました。

GOOCCIES（ゴッチーズ）は、壬生中学校野球部OBの平均年齢22歳の若いチームで、今後の活躍が期待されます。

町公金の口座振替に係わる領収書が一部廃止されます

事務の合理化を図るため、左記の町税・使用料について、口座引き落とし（口座振替）後送付していました領収書を平成12年度から廃止します。

なお、納付の確認は、預貯金通帳等でご確認下さるようお願いします。

○町税
○農業集落排水使用料
○町営住宅使用料

また、領収書に替わり「口座振替済通知書」を送付することになりました。

送付時期等は、次の通りです。

○軽自動車税　口座振替後直ちに送付（軽自動車等の継続検査のため）
○町県民税
○固定資産税・都市計画税
○国民健康保険税
○農業集落排水使用料
○町営住宅使用料　年度末に一括送付

※町公金の納付は、便利で安全な口座振替をご利用ください。

問合せ
・町　税
総務部税務課収税係　☎81－1816
・農業集落排水使用料
経済部農務課農村整備係　☎81－1842
・町営住宅使用料
建設部建設課管理係　☎81－1849

ただいま活動中 ⑧

子育ては最高の喜び

壬生町家庭教育オピニオンリーダー「ポケット」

真剣な表情で見入るこどもたち

平成9年に、カンガルーのように大きな「ポケット（心）」に愛情を一杯入れて、子どもをしっかり受け止めてほしいとの願いをこめて名付けた「ポケット」。

現在、心を痛める子どもの虐待、いじめ、不登校、青少年の非行問題等々様々のことが起きています。原因はひとつではなく複数の重なりと考えられますが、その中で重要視されているのが家庭教育。

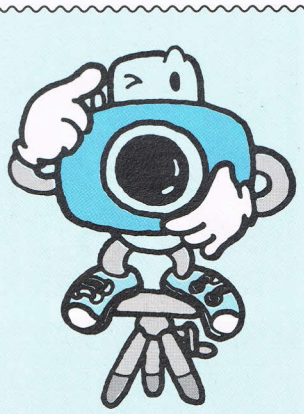
情報過多による育児への不安、核家族による孤立感、社会構造の変化、人間関係の悩み等々あり、解決方法を見つけられずに子育てをしている親。

「ポケット」は未就学児の子を対象に、親子のふれあいを中心に子育てを支援できればと願っています。ひとりで悩まずにすむように。集まってきたことで友達ができて孤立感から解放されるように。その心のゆとりが子育てに大きく影響し、よい親子関係ができます。我が子が一人の人間として成長するのが楽しみになります。

「ポケット」のメンバーは、県家庭教育オピニオンリーダー養成講座を修了した人と、子育て支援に関心のある人たちです。生涯学習館での親子ふれあいサロンでは、現在43組、駅東の自治会公民館での「のびのび広場」では23組の親子が参加しています。10月の「のびのび広場」の時に、〝とちぎTV〟が取材に来て、栃木の教育番組で放映されました。また今年度は、小学校の家庭教育学級にも呼んで頂きました。

ふれあいサロンの内容はリズム、工作、読み聞かせ、おやつ作り、子育てや健康の話、入園前の心得等々季節によって工夫しています。

多くの親が、子どもを育てることは人生の最高の喜びと思えるようになってほしいと願っています。



みんなの広場

皆さんのご応募をお待ちしています!

がんばれ 社会人（No.4）

古河建機株式会社 斉藤康之さん

当社は、昭和48年古河鉱業㈱壬生工場として同社小山工場から分離し、建設機械専門工場として建設されました。平成元年には、社名変更により古河機械金属㈱壬生工場となり、平成11年4月には、古河機械金属㈱より独立し（分社化）し、古河建機㈱として名実ともに壬生町の企業になりました。

当社は、ホイルローダ、ブルドーザ、チッパー、スィーパーをはじめとする建設機械の研究開発、生産を通じ快適な生活環境、豊かな社会づくりに貢献すべく努力しています。特に小型ホイールローダにおいては業界で、一位、二位を争っており、社員一丸となってがんばっています。

それでは、当社に勤務する斉藤康之さんを紹介します。斉藤さんは、平成5年矢板市内より就職され、入社6年目になります。現在は、製造部に所属し、溶接職場の中堅社員とし、各種資格も取得、将来を嘱望されています。また、若いにも拘らず独身寮の寮長に選出されるなど人望も厚いようです。

休日には、アウトドアライフ（春夏秋＝釣り、キャンプ、冬＝スキー等）を楽しんでいます。

宴会、カラオケ等でお酒を飲みながら過ごすのも好きなようです。

現在、ガールフレンド募集中とのこと、ぜひ声を掛けて下さい。

紹介者　武井

とっておきの名人⑧

野菜作りに真剣です

安塚一　佐藤　勲さん

今年78歳になる佐藤さんは、60年来農業に携わり、野菜作りに専念し生計を立ててきました。

安塚バイパス建設のため土地が減少したのを期に、専業を兼業に切替え、息子さんは会社勤めになりました。それでも、自家用に大根、ねぎ、ゴボウ、里芋、ホウレン草、白菜、オクラ、レタスなど数種類の野菜を作っています。

とれた野菜でお嫁さんがおいしい漬物を作ってくれますし、息子さんは、野菜を市場に持って行ってくれます。

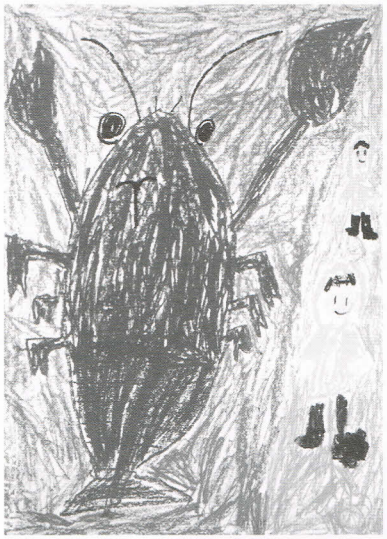
昔は結構いい値段で売れた野菜も今ではとても安くて、手間代にもならない時があります。しかし、努力して良い野菜がとれ、高い値段で売れた時はとても嬉しいということです。

佐藤さん宅の付近の土地は、鹿沼土などの火山灰で野菜を作るのにはあまり適さないそうですが、肥料や消毒の管理を十分に行ったり、虫や病気などにも注意を払うなど、真剣に野菜作りに取り組んでいます。そして、余暇として野菜作りを楽しんでいる近所の人たちにも、適切なアドバイスをして大変喜ばれているということです。

佐藤さんが元気で働けるのも、息子さん夫婦の協力のおかげと話して下さいました。

自慢の野菜畑でポーズ

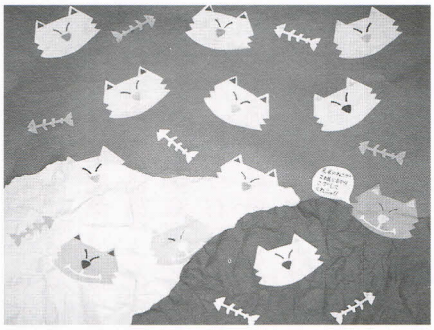
私の作品



「わーい。ザリガニだ」

藤井小１年
山崎　大樹

藤井小６年
寺内　匠



「ねこの兄弟はどこかな」

文芸

文化協会文芸部選

短歌

点滴は右手に預け本を読む
頁繰る手の心許なく　角田　節子

一袋百円也の直売所で
夕餉の献立組み立てている　野口　富代

夕空に母の乳房の茜雲
ふくよかなりしを老いて恋しむ　鈴木一市郎

俳句

去年の秋夫が採りたる蕎麦なれば
渾身のちからこめて打ちたり　高山　ミツ

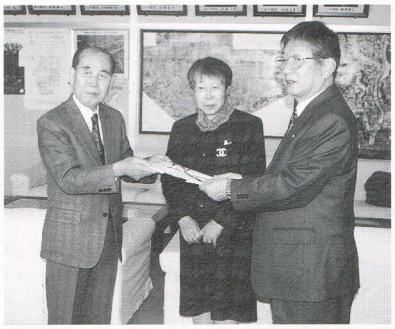
泊船の除夜の汽笛と除夜の鐘　宇井　秋汀

除夜の湯に父と子背を流しあう　佐藤　淑子

手のしわにインクの黒子賀状書く　山木八重子

除夜の鐘鳴りて参道ざわめきぬ　広沢　ツヤ

人見城民の作品12点
町へ寄贈される


守豊さんから町長に目録が手渡される

壬生町に生まれ、1972年（昭和47年）78歳で没した漆芸家・人見城民の作品12点が、12月16日、長男の人見守豊さんと妻の美江子さんから町へ寄贈されました。

作品は、平成5年にも16点が寄贈されており、町ではこれを受け、歴史民俗資料館内に人見城民記念室を整備、常設展示を行ってきました。

今回の作品は、城民の作品の中でも本人が気に入っていたものばかりで、今後同記念室での常設展示や特別展等で紹介していくことにしています。

なお、寄贈された作品は次の通りです。

・日光堆朱千寿二段重
・紫陽花手筥
・昇陽山水日光堆朱手筥
・早春ノ図刀筆飾盆
・バッタ蒔絵長手盆
・刀筆沈金羽衣香盆
・日光堆朱額「幽峰」
・日光堆朱煙草盆
・彫漆小筥向日葵
・日光堆朱額「木兎」
・日光堆朱額「風」
・日光堆朱額「深山」

紫陽花手筥

国民年金あれこれ
障害基礎年金

障害基礎年金とは、病気やケガにより障害が残ったときに受けられる年金です。

次の3つの場合があります。

①国民年金の被保険者期間中（65歳未満）に初診日のある病気やケガで障害者になったとき。

②被保険者の資格を喪失したあとでも、60歳以上65歳未満で日本国内に住所がある人が障害者になったとき

③20歳前に初診日のある病気やケガにより、障害者になったとき

受給要件

①②に該当する場合

◎障害認定日（初診日から1年6カ月を経過した日）に、1級・2級の障害の状態であること。

◎初診日の属する月の前々月までに、保険料を納めた期間と免除期間を合わせた期間が、加入期間の3分の2以上であること。

※初診日が平成18年4月1日前であれば、初診日の属する月の前々月までの1年間の保険料が納めてあれば（免除も含む）受けられます。

※初診日の前日までに保険料の納付が必要です。

③に該当する場合

◎障害認定日が20歳前にあるときは、20歳になったときに1級・2級の障害の状態であること。

◎障害認定日が20歳以後にあるときは、障害認定日に1級・2級の障害の状態であること。

※本人に一定以上の所得がある場合、全額または半額が支給停止になります。

将来の農業経営の担い手
認定農業者
新たに13名誕生

農業経営改善計画認定制度に基づき、新たに13名の農業者が認定を受け、12月20日役場において、認定書の授与式を行いました。

この制度は、町の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意と工夫により、経営規模の拡大、経営管理、生産方式の合理化を図り、21世紀に向けた農業経営を目指す方を、地域の将来の農業経営の担い手として支援するものです。

認定農業者は、農用地の利用集積や農業生産法人出資育成事業、税制上の特例、融資面、各種研修会の実施等の支援措置を受けることができます。

これで今回認定を受けた方々を合わせ、町内の認定農業者は、42名となりました。

今回認定を受けた方々は次の通りです。（敬称略）

増山　秀一（七ツ石）苺・水稲
阿久津和昌（上稲葉）苺・水稲
神長　宣男（上稲葉）苺・水稲
赤塚　力雄（羽生田）苺・水稲
高久　勝義（下稲葉）苺・水稲
神長　光（上稲葉）苺・水稲
琴寄　成人（上稲葉）苺・水稲
黒子　哲夫（上稲葉）苺・水稲
阿久津喜八（上稲葉）苺・水稲
板子　章（七ツ石）苺・水稲
小菅　一弥（上稲葉）水稲・麦・大豆・小豆
鈴木　泰男（下稲葉）水稲・養鶏
篠崎　和己（石橋町）ごぼう・水稲

認定農業者の皆さん

まちのわだい

子供たちが埴輪づくりに挑戦
おもちゃのまちフェスティバル

一生懸命取り組む子どもたち

11月27日、おもちゃ団地厚生会館で埴輪づくり教室が開かれました。

おもちゃ団地協同組合とおもちゃのまち自治会及び同育成会が共催で、例年実施しているおもちゃのまちフェスティバル事業の一環として開いたもので、地元の子供たち約60人が参加しました。

この日は、壬生はにわ会（人見治男代表）から講師を迎え、子供たちは、土偶や土鈴、土器づくりに慣れない手つきで挑戦、悪戦苦闘しながら取り組みました。

なお、作品の焼き上げは、春頃とのことで、展覧会も同時に開く予定になっているそうです。

ふれあいクリーン作戦開始

藤井小児童と壬生高生らが協力して花植え

県立壬生高校と地元の藤井小学校は、今年度から事業を通して交流を始めていますが、12月13日、『藤井小・壬生高のふれあいクリーン作戦』と題して、地域のごみや空き缶拾い・花植えなどを行いました。

北風の吹く寒い中、壬生高からは、生徒会・JRC・整備委員会の生徒達89名、藤井小からは全児童86名、また藤井小PTA、藤井むらづくり協議会、地元老人クラブ員等が集まり、『ふるさと藤井の自然と仲良くしよう』をスローガンに、4つの班に分かれて活動しました。

また、藤井橋たもとの手作り花壇には、色とりどりのパンジーが植えられ藤井小学校児童がデザインした看板が掲げられました。

中学生と小学生が仲良く！
清掃活動を展開

睦小学校付近での活動

小学生と中学生が清掃活動を通して、いじめ問題や明るい学校・地域づくりについての意識を高めることをねらいとして、南犬中区いじめ問題対策委員会の地域活動部では、12月18日、先輩・後輩仲良しクリーン活動を実施しました。

この日は、南犬中の生徒が、壬生東、睦、壬生北、安塚の各出身小学校に集合し、中学生と小学生のグループに分かれ、それぞれ割り当てられた通学路で、空き缶やごみ拾いに汗を流しました。

木村真弓さんらが表彰される
栃木県統計大会で

今年で37回目を迎えた栃木県統計大会が11月25日栃木県総合文化センターで開催され、その席上、本町から次の方々が表彰されました。おめでとうございます。

（敬称略）

●栃木県知事表彰
生産動態統計調査（事業所）
・株式会社　シーズ

●栃木県統計協会名誉会長表彰
統計調査員
・木村　真弓
（駅東町1－8－532）

●労働大臣表彰
毎月勤労統計調査（事業所）
・株式会社　東武スポーツ宮の森カントリー倶楽部

●全国統計協会連合会会長表彰
統計事務功績者（市町村職員）
・粂川　暁夫

寄付

◆社会福祉協議会へ

（○数字は寄付回数）

壬生町菊花会様③	1万円
気功とダンスを楽しむ会様⑲	3千円
しゃぼん壬生店様⑤	3千円
匿名	5万円
羽生田西部親睦会様⑮	3千円
壬生町配食サービスグループ様㉑	8千900円
JAしもつけ壬生地区営農経済センター様④	2万円
近藤きみ子様③	2万円
壬生町婦人会様⑬	3千200円
㈲渡辺寝装様⑧	3千円
おもちゃのまちキリスト教会様④	5万円
㈱都庵様①	1万円
㈱県南環境様㉗	2万円

2月の納税等

- 国民年金（2月分）
- 固定資産税（4期）
- 都市計画税（4期）

（納期限　2月29日）

納期限間際は、納付窓口が大変込みあいます。早めに納付しましょう。

壬生ゆかりの作家たち

～作家のこの一枚(8)～

『心のリズム』（1999年）
梁島晃一（1945－）
油彩（変形120号）作家所蔵

1945　壬生町大字安塚生まれ
1968　東京芸術大学卒業、卒業制作展にて大橋賞受賞
1969　「現代美術の動向展」に招待出品（京都国立近代美術館）
1970　東京芸術大学大学院絵画研究科修了
1979　メキシコに渡り、サンミゲルデアジェンデ市に居住し、制作
　　ベジャス・アルテス、S.M.にて数回個展
1980　木版画詩集『A WHOLE IN HEART』を出版
1988　ニューヨーク個展２回
1990　「今日の造形」に出品（栃木県立美術館）
　　読売新聞連載小説「白い空」（立松和平作）挿絵制作
　　週刊読売「空飛ぶ鯨」（立松和平作）挿絵制作
1992　「デュッセルドルフ、ムルティプル展」に出品（ドイツ）
1993－現在まで各地で個展
　　千葉県市原市在住

冬道はより一層の慎重な運転を！

－東北での事故、関東の人が約2割－

JH日本道路公団東北支社が管理する道路、東北6県の冬期間（過去4年間）に発生した事故のうち、約6割が積雪、凍結などの冬型路面での事故となっています。

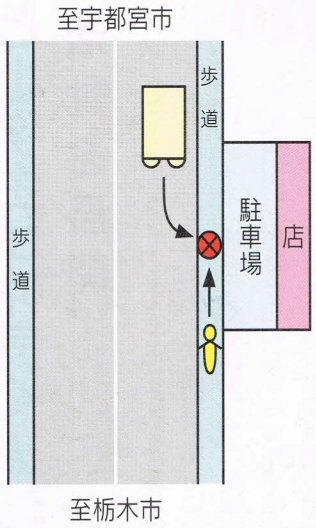
また、平成10年11月から平成11年3月までの東北6県の高速道路上で発生した事故の全死傷者184人のうち、関東の人が40人、約22%を占めています。

判断の甘さからくる急ハンドル・急ブレーキ・スピードの出しすぎが大半を占めていることから、天候・路面状況に見合った運転を心がけ、また、自分の腕を過信せず、制限速度を守り、冬用タイヤの装着、タイヤチェーンを備えるなど、早めに対応しましょう。

－警察署からのお知らせ－

なくそう交通事故

交通事故の事例



注意しましょう

(1)進路変更をする場合は、前、左、右を必ず確認すること。

(2)自転車より早く駐車場に入れると思い左折したところ、衝突した事故であり、その動静にも十分注意すること。

(3)歩道を横断等する場合、歩行者、自転車に注意し進行すること。

－事故の状況－

	12月	累計	前年比
事故件数	22	274	＋69
死　者	1	3	＋1
負傷者	25	320	＋84